



ご入園・ご進級 おめでとうございます

園長 笛木 哲

土手一面を覆い尽くす圧倒的な存在のカラシナの花は、川島町の「春」そのものです。黄と緑、まぶしい光にあふれた春4月、令和4年度のとねがわ幼稚園は、かわいらしい37名(年少51名、年中1名)の入園児と、元気いっぱいの進級児を合わせて161名でスタートしました。世界に一人だけのかげがえのないお子さんが、安心して、自由に、心豊かに成長できるよう職員30名が一致団結して愛情深く保育を行ってまいります。



入園児。大好きなお父さん、お母さんのもとを離れ新しい世界へ一歩を踏み出すお子さんには大きなエネルギーが必要です。きっと不安や戸惑いを感じることでしょう。そんなお子さん一人ひとりの心に寄り添い、一日も早く安心して生活ができるような関わりを心がけてまいります。

進級児。新しい教室、新しい担任の先生、新しい友だち…と新しいことがてんこ盛りの毎日がスタートします。期待とともに緊張感や不安がいっぱいの子ども達の気持ちを受け止め、進級が成長につながるよう一人ひとりの心に寄り添い安心して過ごせる環境づくりや援助を行ってまいります。

お子さんの成長に関するお悩みや、幼稚園生活を送る上でお困りのこと等ありましたら、いつでも担任または園長までお声かけください。一年間よろしくお願ひいたします。

## 新しいとねがわ幼稚園も感染症対策

※詳しくは別紙をご参照ください

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、保護者の皆様と共にお子さんの成長を喜び合える保育活動の充実を目指します。状況によっては、計画の変更を余儀なくされるかもしれません。それでも「工夫してできることはないか」と保護者の皆様と共に知恵を出し合い進めていきたいと考えています。引き続き(マスクをしない生活が当たり前になるまで)感染症対策へのご理解とご協力をお願いします。

## 4月の教育目標



年長児 ・年長になった喜びを味わい、好きな遊びを友だちと一緒に楽しむ。

年中児 ・教師や友だちに親しみながら、好きな遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。

年少児 ・園生活の流れを知り、安心して過ごす。

★保育者<子どもを他の子どもと比べない><今の姿をしっかりと心に書き留める>

# 令和4年度職員紹介

楽しみな出会い。一年間よろしくお願ひします。

♥退職

笑顔が素敵な先生でした。7年間ありがとうございました。

★新採用

理事長		年	ふじ		補助
園長		長	あやめ		
事務長		組	きく		
教務		満3	ちゅうりっぷ		
年少組	もも		ひよこ		預かり保育
	ばら		こぐまサークル		
	ひまわり				
年中組	さくら		補助		園務・バス
	ゆり				バス運転
	すみれ				

※令和4年度の教室配置が変わります。

きく	あやめ	ふじ	すみれ	ゆり	さくら	ひまわり	ばら	もも
----	-----	----	-----	----	-----	------	----	----

ホール

## 園庭

※満3歳児の1学期は年少組で年少児と一緒に過ごします。2学期以降は「ちゅうりっぷ教室」で満3歳児のみで保育を行います。「ちゅうりっぷ教室」は満3歳児の降園後「さくらんぼ教室」になります。

エントランス

職員室

ちゅうりっぷ

## お知らせ&お願い

○本年度より園医が、「清水こどもクリニック」の清水勝則先生に変わ



りました。子どもの健康を診る専門医です。園歯科医は、「川越やぎ歯科」の八木茜先生が歯科検診、歯科指導と子どもの歯の健康のためにご指導くださいます。

★明日からお家の方と離れての生活が始まります。泣いてお母さんから離れない、泣いて帰ってくる、教室では一人でしたよう…などの様子が見られても、決して焦ったり、心配しすぎたりしないでください。「困ったことがあったら何でも先生に言うのよ。先生は幼稚園のお母さんだから」と教えてあげてください。そして、「お母さんはお家でお帰りを待っているから安心して」とお話してください。お家では、「早く」とせかせせたり、「〇〇してはダメ」など禁止の言葉をかけたり、(優しさと勘違いして)子ども自身が困らないように先回りしてやってあげずに、「自分でできることは自分です」「自分で決める」という機会をできるだけもたせてください。可愛そうだとやってあげてしまうと、せっかくの**自立**の機会を失うことになります。

★健康で、元気いっぱい幼稚園生活をおくるためには、正しい生活リズムを身につけることが大切です。「はやね はやおき あさごはん」のどれか1つでも習慣化すると、他のこともできるようになります。まずは**できることからチャレンジ**です。

『早寝』夜は9時までに寝ます。寝る1時間前はTVやスマホ等は控えます。

『早起き』朝は6時から7時に起きて、朝の太陽の光を浴びます。

『朝ご飯』噛むこと、胃腸を動かすことで脳を刺激し、体温が上がって目が覚めます。朝うんちの習慣もつくとなおさらいいですね。

